

3 クマのスギ剥皮害防除試験（第3報）

予算区分：国 補
担当科名：育種科

研究期間：平成11～14年度
担当者名：八神 徳彦
江崎功二郎

．目的

ツキノワグマによるスギ等への剥皮被害を軽減させるため、被害状況の把握と防護ネットの防護効果を検討する。

．試験内容

（1）被害状況調査

激害地の被害発生時期と被害量を精査し、防護の目処となる前兆的剥皮の有無を調べた。

（2）防護試験

激害地およびその周辺林分で設置した4種の防護ネットの施工性と効果を比較した。

．試験結果

（1）被害状況調査

激害地では、防護の目処になる前兆的な被害がほとんどなく、短期に集中して激しい被害が発生することもあった。このような林分では、予防的防護が困難であり、クマの個体数調整にも考慮する必要がある。

（2）防護試験

対照木には約3割の激しい被害がみられたが、ネット処理木の被害はわずかで効果に統計的な差が見られた。しかし、4種のネットの間には効果の差が見られなかった。また、運搬や巻き付ける際の作業効率が悪いものも見られた。

表 4 種類の防護ネットの効果と特徴

ネット	本数	被害本数 (被害率)	施工性	施工単価
害獣侵入防止ネット	48	1 (2.0%)	良好	336円/本
ゴルフネットB	50	0 (0%)	良好	813円/本
シカ角とぎ防止ネット	48	3 (6.2%)	悪い	340円/本
土木シート	50	3 (6.0%)	極悪い	447円/本
対照無処理木	114	31 (27.2%)		

．考察および今後の課題

防護ネットの長期の効果を確認するとともに、剥皮被害とクマの生態的な関連を調査していく。